

令和6年6月26日	
資料提供	
担当課	文化財保護課
担当者	東原・福元
電話	072-447-6766

祝 日本遺産「日根荘」構成文化財追加認定

1. 日根荘

令和元年度に日本遺産に認定されました『旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—』のストーリーを構成する文化財に、以下の2か所が追加認定されました。

文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ
船岡山 <small>ふねおかやま</small>	未指定 (史跡)	荘園絵図に記される岡本にある船岡神社の境内地にあり、標高 25.5mの単独峰である。日根荘の鎮守社である日根神社の由来書を記した文書から、日根神社との深いかわりかわりが伝わる。日根神社まくらまつりの神輿や幟渡御等が行われた。
葛葉井の淵 <small>くまは い ふち</small>	未指定 (史跡)	長滝と上之郷の中間に位し、水面約 0.9a、深さ 1mほどの遊水池である。古くから清水が湧き出て、約6haの水田を潤す中世由来のかんがい用水である。犬鳴山七宝瀧寺の塔の滝から葛葉を投げ入れたところこの淵に流れたことから、地名の「長滝」の由来となったことが記される文書は「政基公旅引付」を記した九条政基によって筆写され、九条家文書に残る。

これらの文化財は、旅引付や二枚の荘園絵図に登場するもので、現在も地域の人々の暮らしに根付いた文化財です。日本遺産のストーリーをより充実させるものとして、このたび追加認定されました。

『旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—』のストーリーの概要

今から 800 年前、泉佐野市は上級貴族、九条家の領地「日根荘」でした。ここには二枚の荘園絵図と九条政基が書いた「旅引付」という日記が残されています。絵図には緑豊かな風景に、田畑に恵の水を注ぐため池や水路、社寺などが描かれ、日記には 500 年前の村の生活や人々の様子がいきいきと記されています。荘園の地を創り、中世から受け継がれてきた現在のこの風景は、絵図や日記に描かれた魅力ある農村景観へと誘ってくれるのです。

2. 日本遺産

○日本遺産とは

- 地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産（Japan Heritage）」として文化庁が認定。
- ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる文化財群を地域が主体となって、総合的に整備・活用し、国内・海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ります。

○認定ストーリー

- 104件
- 令和2年度の新規認定をもって当面最後の認定としています。

3. 泉佐野市の日本遺産

①令和元年度認定『旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—』

地域型：泉佐野市のみ

②令和2年度追加認定『荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落』

平成27年度認定 シリアル型：泉佐野市他51市町村

③令和2年度『「葛城修験」—里人とともに守り伝える修験道はじまりの地』

シリアル型：泉佐野市他3府県22市町村

4. お問い合わせ先

⇒文化財保護課までお問合せ下さい。



船岡山



葛葉井の淵